

# 第12回FDフォーラム 学生が伸びる大学教育

3月3日[土] 京都産業大学 神山ホール  
3月4日[日] キャンパスプラザ京都

## テーマ「大学生の発信力が伸びる」

基調講演

講師 樋口 裕一氏 [作家・京都産業大学客員教授]

これまでの日本では受信能力ばかりが重視され、教育のほとんどが受信に関するものでした。しかし、これからの社会の、とりわけ大学において重視されるのは発信力です。ところが、そのためのカリキュラムやノウハウが開発されていないのが現状です。大学生が自ら発信力を伸ばすにはどうすればいいの、大学教員は何をなすべきか、どのような入試、指導、サポートが必要かを、長い間大学を外から見てきた者として、お話したいと思います。

## テーマ「学生が伸びる大学教育」

シンポジウム

シンポジスト 中津井 泉氏 [リクルート・カレッジマネジメント編集長]  
中尾ハジメ氏 [京都精華大学理事長]  
橋本 勝氏 [岡山大学教育開発センター教授]  
コーディネーター 木野 茂氏 [立命館大学大学教育開発・支援センター教授]

日本の高等教育情勢が急激に変化している中、各大学は、特色ある教育や研究を行うだけでなく、ステークホルダーの多様なニーズに応えるために、様々な改革を行っています。その中で、FD活動は大学教育の充実・発展を図る上で不可欠であることは言うまでもありませんが、これからのFD活動は単に設置基準の義務化への対応にとどまらず、「学生」の視点にたつて、真に学生が伸びる教育を目指さねばなりません。そこで、今年度のシンポジウムでは、特色ある取り組みを実践、あるいは、よくご存じである立場のシンポジストから“学生が伸びる”大学教育とはどのようなものか、“学生が伸びる”大学教育には何が必要なのか等に関して報告を頂き、意見交換を行うことを目的とします。

### 3月3日[土]

13:00 - 17:00  
(17:15より情報交換会)  
受付開始 (12:00)

13:00-13:10

開会挨拶  
●会場挨拶 坂井東洋男氏 [京都産業大学学長] ●運営責任者挨拶 河原地英武氏 [第12回FDフォーラム企画検討委員会委員長 京都産業大学教育エクセレンス支援センター副センター長]

13:10-14:10

基調講演  
「大学生の発信力が伸びる」

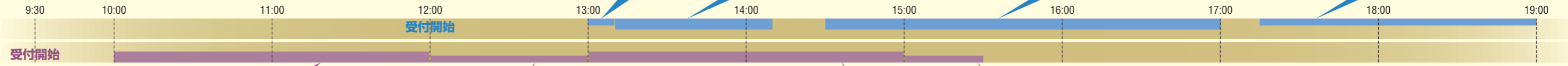
14:30-17:00

シンポジウム  
「学生が伸びる大学教育」

17:15-19:00

情報交換会

### タイムスケジュール



### 3月4日[日]

10:00 - 15:30  
受付開始 (9:30)

10:00-12:00

分科会 (午前の部)  
●第1ミニ・シンポジウム ●第2ミニ・シンポジウム  
●第1分科会 ●第2分科会 ●第3分科会  
●第4分科会 ●第5分科会 ●第6分科会

12:00-13:00

休憩

13:00-15:00

分科会 (午後の部)

15:00-15:30

大学コンソーシアム京都事業説明

#### 第1ミニ・シンポジウム FDの組織的推進 -SDとの接続を求めて-

FDの必要性は、日本の大学においても広く認識されるようになったが、FDの実態は、特定の教員の個人的努力に依存する部分が多く、恒常的な事務体制のもとで推進されているとは言い難い面も少なくない。本ミニ・シンポジウムにおいては、FDが直面している課題を整理した上で、教員と事務職員の教育的連携を図るSD(スタッフ・ディベロップメント)も視野に入れた、活動の継続性を担保することによって、FDをさらに組織的に推進するための方策について意見交換することを目的とする。FDに直接関与する教員は言うまでもなく、アドミニストレーター職員養成等を含めたSDに関心を持つ事務職員の積極的な参加も期待したい。

シンポジスト 原 清治氏 [佛教大学教育学部教授]  
後藤 篤子氏 [法政大学FD推進センター長]  
今田 晶子氏 [立教大学大学教育開発・支援センター課長]  
肥塚 浩氏 [立命館大学経営管理研究科教授]

コーディネーター 圓月 勝博氏 [同志社大学教育開発センター所長]  
浅若 裕彦氏 [大谷大学文学部助教授]

#### 第1分科会 大学におけるキャリア教育の方向性 -その理論と実践を踏まえて-

第11回FDフォーラム分科会のフロアの要望に応え、今年度もキャリア教育のテーマを継続することになった。本分科会では、キャリア教育に関する研究者・キャリアカウンセラー資格を認定するキャリア教育学会の代表者・実のあるキャリア教育実践で全国的に著名な大学代表者を招き、キャリア教育の歴史的背景・理論・実践、そして我が国の大学におけるキャリア教育の課題・今後の展望等を、参加者と共にディスカッションしていただきたい。

報告者 池本 正純氏 [専修大学経営学部教授・キャリアデザインセンター長・日本私立大学連盟就職委員会副委員長]  
清水 和秋氏 [関西大学社会学部教授・日本キャリア教育学会会長]  
宮本 紀男氏 [金沢工業大学工学部教授・工学基礎教育センター所長]

コーディネーター 桐野由美子氏 [京都ノートルダム女子大学生生活福祉文化学科教授]  
谷口 隆之氏 [京都薬科大学薬学部教授]

#### 第2ミニ・シンポジウム 授業アンケートは授業改善につながるのか? -学生と教員の声-

学生による授業アンケートは手ごろなFD活動の手段ではあるが、実施から数年後には、①教師はアンケートそのもの自体が容認できない、②学生にとっては、何回アンケートを書いても要望が実現されない、③大学の執行部にとっては、全学的な授業改善の効果が得られているのかわからない、といった袋小路に入り込んでしまうのではないか。このミニ・シンポジウムでは、評価される側の教員と、評価する側の学生の双方の声を取り上げ、実施が当然と思われるままにされている授業アンケートのあり方、意義について、他人事的な机上の空論ではなく、具体的な運用を念頭に置いて、専門家、有志学生、フロアの参加者とともに熱い議論を展開したい。

シンポジスト 濱名 篤氏 [関西国際大学学長]  
米谷 淳氏 [神戸大学大学教育推進機構教授]  
中村 博幸氏 [京都文教大学人間学部教授]

情報提供者/協力者 京都教育大学・佛教大学 学生有志

コーディネーター 藤岡 秀樹氏 [京都教育大学教育学部教授]  
松本 真治氏 [佛教大学教授法開発室室長]

#### 第2分科会 大学における国際化への対応 -国際感覚をもった学生の育成-

急速に展開するグローバル化によって国際協調と国際競争が同時進行する21世紀の学士課程教育にとって、価値観の多様性を十分認識し、世界を舞台に活躍できる人材を育成することが急務の課題である。

本分科会では、「国際感覚をもった学生の育成」をサブテーマとして、「大学教育はいかに国際化へ対応していくか」という大学が直面する大きな課題について、海外の教育機関での具体的な対応や日本における先進的かつ組織的な対応を紹介し、従来の枠組みや方法にとらわれることなく、新しい視点からの具体的な方法とその実践例を提示することによって、分科会参加者が所属する大学の国際化への対応策の検討に資するものとした。

報告者 大森不二雄氏 [熊本大学大学教育機能開発総合研究センター教授]  
勝又美智雄氏 [国際教養大学国際教養学部教授・図書・情報センター長]  
鈴木 健司氏 [同志社女子大学芸学部教授・国際交流センター所長]

コーディネーター 三浦 潔氏 [京都文教大学人間学部教授]  
高橋 伸一氏 [京都精華大学人文学部助教授 教務部長]

分科会  
プログラム

#### 第3分科会 大学院のFDって何? -大学院設置基準のFD義務化を受けて-

大学院の多様化・大衆化が進むなか、いよいよ2007年4月から、大学院では、大学に先がけて「FDの義務化」が施行されます。しかし、大学院では、「FD」そのものが意識されておらず、具体的にイメージすることさえ難しい状況にあります。そこで、専門職大学院、理工系、人文社会系の大学院から話題提供者をお招きし、大学院教育の「FD」をどう捉えたらよいか、それはどうあるべきかについて、それぞれの立場からご提案いただきます。また、数名の大学院生の方々からも、感想や意見を表明していただきます。フロア参加者も交えて、大学院のFDのあるべき姿を探るべく、多様な視点からディスカッションを深めていきたいと考えています。

報告者 石井 康之氏 [東京理科大学専門職大学院総合科学技術経営研究科教授]  
田中 敏宏氏 [大阪大学大学院工学研究科教授]  
館 昭氏 [桜美林大学大学院国際学研究科教授]  
鈴木 美香氏 [京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻専門職学位課程1年]  
北村 恭子氏 [京都大学大学院工学研究科修士課程1年]  
遠藤 貴広氏 [京都大学大学院教育学研究科博士後期課程3年]

コーディネーター 大塚 雄作氏 [京都大学高等教育研究開発推進センター教授]

#### 第4分科会 短期大学の独自性とは?

男女共同参画社会の進展に伴う女子教育の理念の事実上の形骸化や、就職面での厳しい現実を前にして、短期大学は極めて重大な局面に立たされている。この分科会では、短期大学におけるGP採択の具体的事例を、3つのそれぞれ異なる視点から報告していただき、短期大学の抱える課題と今後の展望について検討する。

そして、いわゆる「出口」の問題も含めて、4年制男女共学化が進む中、短期大学はどのようにしてその独自性を保てるかを中心に、参加者と共に議論を深めていきたい。

報告者 足立 寛氏 [立教大学大学教育開発・支援センター調査役]  
柳田 博明氏 [京都外国語短期大学英語科長]  
渡辺 康洋氏 [富山大学高岡短期大学部教授]  
矢原 充敏氏 [東海大学福岡短期大学助教授]

コーディネーター 菅野瑞治也氏 [京都外国語短期大学教授]  
國安 俊彦氏 [京都外国語短期大学講師]

#### 第5分科会 学力低下に関する問題とどう取り組むのか

大学の学力低下の問題は日本の社会にあって、極めて深刻な問題といっている。日本の高等教育の学問的なあり方は、OECDの中でもっとも低い分類に入っている。今なんとかしないと日本は沈没の一途を歩むことになる。なぜなら日本の経済を支えているのは、人的資源がもっとも重要な生産要素だからである。

このような見地から、この分科会では、学内における学力アップとどう取り組むのか、高校をはじめとする大学入学前教育とどう連携して学力低下の問題と取り組むのか、などについて議論することを目的とする。

報告者 河村 能夫氏 [龍谷大学経済学部教授]  
山田 健治氏 [福山女学園大学現代マネジメント学部教授]  
吉原 恵子氏 [兵庫大学健康科学部教授]

コーディネーター 岡地 勝二氏 [龍谷大学大学教育開発センター長]

#### 第6分科会 大学連携型教育プログラムにおけるFDの意義と役割 -双方向性を向上させる授業評価とOCWに向けて-

大学連携による教育プログラムは、単位互換制度をはじめ様々な内容で全国的に展開されており、大学連携組織が全国に広がる中、大きな流れとして定着している。では、連携型教育において、「学生が伸びる教育」を実現させるためにどういったFDが求められるのか。大学連携だからこそのFDもあれば、大学連携ゆえに実現の難しいFDもある。

本分科会では、個人的な授業評価に取り組み京都の大学・短期大学の事例、大学コンソーシアム京都の単位互換制度(特色GP採択事業)で検討されている授業評価とOCW(OpenCourseWare)の事例をもとに、連携型教育におけるFD活動の現状と課題、そして今後について議論する。この議論は、連携型教育のみならず、今後の個別大学の授業評価やOCWの実践にも示唆深いものになるだろう。

報告者 椋本 洋氏 [立命館大学高大連携室教授]  
松本 由利氏 [京都高等教育研究センター研究員]  
浅野 昭人氏 [立命館大学大学教育開発・支援センター課長]  
宮崎 耕氏 [同志社大学経済学部教授]

コーディネーター 山内 信幸氏 [同志社大学文化情報学部教授]  
コメンテーター 村上 正行氏 [京都外国語大学・同短期大学専任講師]  
寺川真知夫氏 [同志社女子大学教育開発推進センター所長]